

第 44 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：樹林環境(雑木林)の順応的管理—

12月20日(土)、今回の現場研修会からは樹林環境(雑木林)の順応的管理というテーマで、園内であまり手を入れていない樹林地の間伐作業を中心に行いました。



12月にしてはあたたかく、
穏やかな陽気の里山。



そんな冬晴れの谷戸山公園で現場研修会スタート。
今回のプログラムは「樹林環境の順応的管理」です。



去年から間伐や下草刈り等の植生管理を行っている場所です。だいぶ明るくなってはいますが、林床植生にあまり変化はみられませんでした。



一見明るく見える林も、夏場は落葉樹も葉を茂らせ、暗くなってしまうのです。陽樹であるクヌギやコナラも発芽するようになりましたが、その後成長できていないことから、林床の照度が足りないことが分かります。



そこで、萌芽更新(皆伐更新)を行っていくことになりました。これまでは鋸や鉋だけで作業をしていましたが、大規模な伐採となることから、今後はチェーンソーを使った伐採もしていきます。



今回は最初ということで、林業に従事している方にチェーンソーの使い方や注意点、樹木の伐採の仕方などを実際に目の前で見ていただきました。



昼食後は、恒例となった環境に関する記事の発表です。色々な人がそれぞれ気になった事柄を見つけてくるので、知らないことが沢山出てきてとても勉強になります。



午後は、前回までに行った「ホトケドジョウの生息環境整備」の一環で再生した水路の見学からスタートです。苦勞して作業した水路は、埋まることなくしっかりした流れとなっていました。



続いて、スギ・ヒノキなどの植林地の観察です。
ここも管理されずに放置された結果、シラカシや
イヌシデなどが進入し、真っ暗な林になってしまいま
した。今後どのように管理すべきか検討していきます。



さて、午前中の場所に戻って作業再開です。
萌芽更新するエリアの樹木を伐採していきます。



チェーンソーの威力を知ってしまうと手作業は
つらく感じてしまいますが、力を合わせて、地道に。



今後の管理作業に利用できるよう、まっすぐな幹を
90cm・120cm・180cmに切りそろえ、枝は粗朶用
に集めておきます。細かい枝葉は落ち葉溜め
に入れて堆肥化します。ごみは一切出しません。



最後に・・・チェーンソーアート「フクロウ」です。
チェーンソーの扱いに慣れるとこんなことも
できるようになります。

これで今年の研修会はすべて終了です。来年も引き続き研修会を開催していきますので、興味のある方は是非ご参加ください。また、回を重ねて参加することでより理解が深まりますので、参加したことのある方も継続してご参加ください。